

# 「発達障害理解して」

宇部のウオーターアートパフ  
母と山口で講演

宇部市在住で発達障害のあるウオーターアートパフ

オーマリーの堀川玄太さん(23)と母貴美子さん(51)が20日、山口市熊野町のニューメディアプラザ山口で講演し、注意欠陥多動性障害(ADHD)などの発達障害に理解を呼び掛けた。

玄太さんは3歳の頃にADHDと診断された。現在はときわ公園のカフェで働きながら、路面にほつみや霧吹きを使って水で絵を描くウオーターアートのパフ

オーマンスを県内外で披露している。

貴美子さんは、玄太さんが小さい頃にパニックで頭をぶつけたり、急に走りだしたり行動を予測できなかった経験を紹介。当時は発達障害という言葉がなく、「周囲から『愛情が足りない』『甘やかすすぎ』と言われて苦しかった」と振り返った。

現在は「ADHDを考える会」を立ち上げ社会参加の支援を行っている。「周



堀川玄太さん(右)の発達障害などについて語る母貴美子さん(左)と20日、山口市

りの方の協力が必要で、玄太と多くの人がつながりを持ってくれるとうれしい」と呼び掛けた。

玄太さんはウオーターアートを披露し、作品に込めた思いなどを説明。「障

書は治らないけど、自分の特性として愛している。障害のある人たちにも一人一人個性があることを知ってほしい」と語り掛けた。

講演は発達障害に対する地域の理解を深めようと、宇部市の「発達障がいサポートBLUE ART Project」が企画。約120人が聴講した。

## 施設入所者暴行 骨折させた疑い

大阪、職員を再逮捕

大阪府和泉市の障害者支援施設「太平」で入所者の男性を骨折させたとして、府警捜査一課は25日、傷害容疑で大阪市住吉区、施設職員竹田涼容疑者(26)別の傷害罪で起訴しを再逮捕した。

再逮捕容疑は16年2月19日午前3時ごろ、施設内で、当時63歳だった男性を暴行し、顎の骨を3カ所折るけがをさせた疑い。「暴行はしていない」と容疑を否認している。

捜査一課によると、竹田容疑者は「男性を介助中、車椅子からベッドに移そうとしてバランスを崩し、顎が肘掛けに当たった」と説明。しかし肘掛けにはクッションがあり、複数の医師の所見から、顎をぶつけても骨折する可能性は低く、同課は暴行が原因で負傷したとみている。男性は約半年後、病死した。

## 障害者福祉充実へ 長門市に1千万円

ヤマネ鉄工が贈る

長門市日置上の鉄工製造業、ヤマネ鉄工建設(山根正寛社長)は31日、長門市に1千万円を寄付した。市は、整備予定の児童発達支援センターの設置・運営に活用する方針。

同社は学校教育、高齢者、障害者、地域活性化の支援のため、利益の5%を上限にした社会貢献活動に取り組んでおり、山根社長は「障害者福祉の中核を担うことになる児童発達支援センターの設置に有意義に活用してもらえることを社員一同うれしく思っている」とコメントした。